

平成 30 年度宮城県がん検診精度管理等調査実施要領

1 目的

早期のがんをできる限り多く発見するとともに不必要な精密検査を減らし、また、がん検診の診断技術を一定に保つとともにその効果・効率を明らかにするため本調査を実施し、市町村が実施するがん検診事業の質の確保を図る。

2 実施主体

宮城県

3 調査期間

平成 30 年 11 月から 12 月上旬

4 調査対象

市町村及び検診実施機関

※ 検診実施機関は、委託形態に関わらず、実際の検診を行う個々の検診機関（医療機関）を指す。

5 調査対象及び対象年度

(1) 概要調査【市町村のみ】：平成 30 年度

(2) がん検診チェックリストの使用に関する実態調査及びがん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査【市町村及び検診実施機関】：平成 30 年度

(3) がん検診結果別人員等調査【市町村】

①一次検診関係：平成 29 年度

②精密検査関係：平成 28 年度

6 調査内容

(1) 概要調査

がん検診について、検診の周知方法、受診を促進するための環境整備状況、未受診者対策、検診実施機関へのプロセス指標のフィードバック体制など、がん検診事業のソフト面に関するアンケート調査を行う。

(2) がん検診チェックリストの使用に関する実態調査（市町村用）及びがん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査（検診実施機関用）

①市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査（市区町村用）

各種がん検診システムが適正に運用されるための基本的条件を明示した「がん検診チェックリスト」の実施状況を把握し、実施体制の評価を行う。

②がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査（検診実施機関用）

市町村のがん検診委託先において、適切な精度管理下で検診が実施されているか把握し、検診機関の精度管理状況の評価を行う。

（３）がん検診結果別人員等調査

各種がん検診の一次検診及び精密検査の受診状況及び判定別の結果について集計し、算定された各プロセス指標から市町村ごとのがん検診の精度管理状況を数値的に評価する。

7 調査・報告の方法

	市町村	検診実施機関
(1) 概要調査	健康推進課から様式を電子メールで送信し、電子メールで報告をする。	
(2) がん検診チェックリストの使用に関する実態調査	健康推進課から様式を電子メールで送信し、電子メールで報告をする。 ※ 本調査は国立がん研究センター実施の「市区町村におけるがん検診のチェックリストの使用に関する実態調査（先行調査）」により、10月に実施済。	健康推進課から市町村に様式を電子メールで送信し、市町村が検診実施機関に報告を依頼する。 報告を受けた市町村は、電子メールで健康推進課に報告する。
(3) がん検診結果別人員等調査	健康推進課から様式を電子メールで送信し、電子メールで報告をする。	

8 調査結果の集計・分析等

がん検診精度管理調査は、健康推進課で集計する。

分析については、宮城県生活習慣病検診管理指導協議会胃がん部会、子宮がん部会、肺がん部会、乳がん部会及び大腸がん部会を開催し、有識者からなる協議会委員からの助言指導を受けながら行う。

9 調査結果の公表

調査結果は、宮城県生活習慣病検診管理指導協議会に報告の上、保健福祉部健康推進課のホームページにおいて公表する。

10 その他の注意事項

様式は毎年更新しているので、必ず今年度送付した様式を使用して回答願いたいこと。